

医学系研究科 医学専攻

学位プログラム： 感染症学・免疫学学位プログラム

授与する学位： 博士（医学）

教育目標

大阪大学及び医学系研究科の教育目標のもと、学位プログラム「感染症学・免疫学学位プログラム」では、以下のような人材及び能力の育成に取り組んでいます。本学位プログラムでは、国際的に活躍する有力な感染症学・免疫学研究者のもと、国際水準の優れた研究環境において高いレベルでの教育及び研究を行うことにより、高度な専門性と深い学識経験をもつ研究者を育成します。さらにこの若手研究者が新しい研究領域を切り拓き、世界を変える研究を行う研究者として、感染症学・免疫学研究を先導する次世代のリーダーとなることを目標としています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・ 高度な医学に関する専門性と深い学識を有する人材。

○高度な教養

- ・ 最先端の医学・公衆衛生学の推進、及び、人類の健康・福祉に貢献できる高度な倫理観と、深い教養を兼ね備えた人材。

○高度な国際性

- ・ 世界の医学、生命科学、及び医療の発展に貢献し、次世代をリードするグローバルに活躍する人材。

○高度なデザイン力

- ・ 医学や医学を取り巻く多様な領域の課題を発見し、多様な分野と協働し、解決できる人材。

○独自の教育目標

- ・ 新しい領域を切り拓き、世界を変える研究を行う研究者として、感染症学・免疫学研究を先導する人材。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「感染症学・免疫学学位プログラム」では、教育目標に定める人材を育成するため、所定期間在学し、必要な単位を修得のうえ、審査及び試験に合格し、次のとおり優れた知識と能力を身につけている学生に学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・医学・生命科学・医療に関する高度な知識を身につけている。

○高度な教養

- ・医学研究に必要な高度な倫理観を身につけている。
- ・生命現象を統合的に理解する能力を身につけている。

○高度な国際性

- ・グローバルに活躍する能力を身につけている。

○高度なデザイン力

- ・医学を取り巻く多様な学問分野と協働する能力を身につけている。

○独自の学習目標

- ・新しい領域を切り拓き、世界を変える研究を行う研究者として、感染症学・免疫学研究を先導する能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「感染症学・免疫学学位プログラム」では、ディプロマ・ポリシーに定める高度な知識・能力を修得するため、次のとおり教育課程を編成しています。

<教育課程編成の考え方>

医学系研究科の医学、生命科学、及び医療に関する高度専門性授業科目に加えて、生命現象を統合的に理解する能力を涵養するための多様な関連領域の授業科目、グローバルに活躍する能力を涵養するための授業科目及び新しい領域を切り拓き、世界を変える研究を行う研究者として、感染症学・免疫学研究を先導する能力を養成する科目などを体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業と優れた研究指導を行います。

<学修内容及び学修方法>

- ・ 医学・生命科学・医療に関する高度な知識を身につけるための講義を選択必修科目として学修します。
- ・ 生命現象を統合的に理解する能力を身につけるための講義を選択必修科目として学修します。
- ・ 医学研究に必要な高度な倫理観と、安全に研究を行うための知識を身につけることを目的とした講義を選択必修科目として学修します。
- ・ グローバルに活躍する能力を身につけるための英語演習を選択科目として学修します。
- ・ 医学を取り巻く多様な学問分野と協働する能力を身につけるため、配属された研究室での指導教員による研究指導を選択必修科目として学修します。
- ・ 世界の第一線で活躍する研究者が主宰する研究グループでの学位論文研究をとおり、研究基礎力の涵養のみならず実践的な感染症学・免疫学の学識を深めるとともに、研究に対する技術・方法論及び研究マネジメントを学修します。
- ・ 研究実践力を涵養し、世界水準の自立した研究者として研究を実施するための独創的研究課題の創出と先端研究の実施経験の蓄積、世界的視野の獲得のため、世界第一線の指導教員による研究指導を必修科目として学修します。
- ・ 免疫学フロンティア研究センター、微生物病研究所、感染症総合教育研究拠点及び先端モダリティ・DDS 研究センターの国際的な研究機関・研究者とのネットワークを活用した共同研究、海外留学等の国際交流への参画を通じてグローバルに活躍する能力を修得します。

<学修成果の評価方法>

- ・ 学修の成果は、シラバスに記載された学習目標を試験、レポートにより、その達成度を評価します。
- ・ プログラム修了審査では、独創的研究課題にもとづく優れた科学技術水準を満たす研究成果を発表し、自ら研究を実践する能力を有する研究者として、新しい領域を切り拓き、感染症学・免疫学研究を先導する能力を有しているかを評価します。

- ・ 学位論文の審査は厳格に行われ、その評価は、知識・技能、それらを発展・活用できる能力の修得度によって評価します。

カリキュラムマップ（博士課程 感染症学・免疫学学位プログラム）

	最先端かつ高度な専門性と深い学識	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	独自の教育目標	1 年				2 年				3 年				4 年			
						春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
医学研究に必要な高度な倫理観を身につけている。		○				授業科目A （生体統御医学A、感染症・免疫学Aなど）								特別セミナー （生体統御医学特別セミナー、感染症・免疫学特別セミナーなど）							
医学・生命科学・医療に関する高度な知識を身につけている。	○	○	○																		
医学を取り巻く多様な学問分野と協働する能力を身につけている。		○	○	○																	
生命現象を統合的に理解する能力を身につけている。	○		○	○																	
グローバルに活躍する能力を身につけている。			○			Medical Writing Medical Oral Presentation															
新しい領域を切り拓き、世界を変える研究を行う研究者として、感染症学・免疫学研究を先導する能力を身につけている。					○	実践感染症学・免疫学演習 1 実践感染症学・免疫学演習 2 感染症学・免疫学実習 1 感染症学・免疫学実習 2															

必修科目選択必修科目選択科目